

奔西走



今年もがんばります！

生理用品の陳情 自民、創政が否決



11月岡山市議会に「学校女子トイレに生理用品を常備することを求める」陳情が出され、子ども・文教委員会では賛成多数でしたが、12月16日の本会議で自民と創政会の反対で不採択にされました。

この陳情は、昨年より署名が2千筆増えました。また高校生が主体のシン

2023年は、3月31日告示、4月9日投票で岡山市議選と県議選が行われます。物価高と軍拡・増税から、いのちとくらしをまもる年にするためにがんばります。

東市議は年末年始、消防団の夜警など地域行事や、生活相談などにとりくみました。



討論に立つ東市議(12/16)

ポジウムが開かれるなど、声が広がっています。

しかし市は、相談の機会にするから保健室に取りに来れば良いとして拒否しています。子ども・文教委員会では、貧困対策なのか目的がよくわからない、先生の負担が増

中央写真は、市役所前での仕事始め宣伝(東市議は左から4番目。1月4日)。左上写真は京橋朝市の年末留市でのごあいさつ(12月29日)、左下は南区福島緑地の住吉宮での初日の出(1月1日)、右下は岡山中央卸売市場の初セリ(1月5日)。

えるなどと、強硬に反対する議員もいました。東市議は「トイレットペーパーと同じ当たり前の必需品」「相談機会は別にでもてばいい」などの声を紹介し、採択を求めました。

◇
今議会は69議案中、党市議団はマイナンバー利用拡大と市立幼稚園の統廃合の2議案に反対、東市議が討論しました。

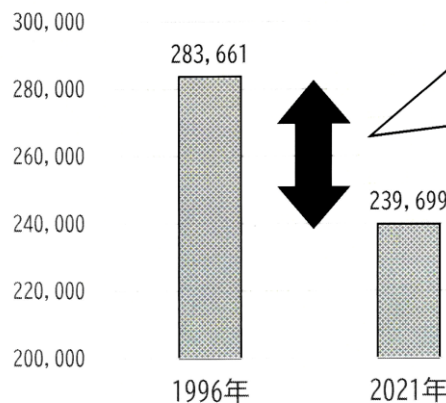
国の出産・子育て応援給付金を支給する補正予算が成立しました。

水道料金値上げに道理なし

広域水道企業団(吉井川水系)からの水利権と給水量
(単位 t/日)

	基本水量	使用水量
10 市町計	181,300	79,284
うち岡山市	109,250	43,700

岡山市の配水量
(単位 t/日)



ピーク時から約
4.4万トン減少
これは、広域水道
企業団の使用水
量 43700 トンを
上回る



質問する東市議(12/7)

市民生活への追い打ち

物価高で市民生活は大変です。こんなときに岡山市は水道料金値上げを狙っています。東市議は市民への追い打ちになりかねないと市の認識をたどしました。市は「一定のご負担をお願いしたい」と冷たい答弁でした。

苦田ダムのムダは温存

水道事業会計が厳しいことが値上げの理由ですが、一方で、県広域水道企業団から苦田ダムの水を日量4万3,700トン受水し(上表)、受水費を年21億円払っています。東市議は市が供給している配水量はピークより日量4万4

値上げ回避に努力を

千トン減っている(上グラフ)ことを示し、苦田ダムの高い水を買う必要はないと迫りました。しかし市は必要な水源と言いきり、受水量を減らすことを県広域水道企業団に提起することも拒否しました。

東市議は一般会計からの繰り入れを行ってでも値上げを避けることや低所得世帯減免を求めましたが、行わないという答弁でした。

ひとこと

毎週金曜日に中国電力岡山支社周辺で、岡山から原発ゼロをめざす「金曜アクション」がとりくまれ、12月16日に500回を迎えました。

岸田政権が原発推進に舵を切った今こそ大事なこととみです。(東つよし)



東市議はバス路線再編についても質問しました。岡山市は、築港新町から南区役所方面や、県道岡山児島線から妹尾駅への路線再編案を持ち、事業者と協議をしていましたが、現在止まっています。

バス路線再編へ注力を

つなげる案であり、市が協議再開へイニシアチブをとること、財政支援も検討をと求めました。市は協議再開の働きかけに意欲を見せました。ただ、市民に乘ってもらう支援はするが、直接の経費支援には否定的な答弁でした。

河川敷草刈りは大変

旭川や笹ヶ瀬川の河川敷の緑地についても質問しました。市は地元の愛護委員会に管理を任せているが、年々草刈りが大変だと指摘しました。市は、最終的な責任は市だが、まず区役所などへ相談や要望をと答弁しました。